

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 公益財団法人 阿蘇火山博物館 久木文化財団

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		行政の指示に従い、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気料金計算書や灯油使用履歴を月ごとにまとめ、ファイリングを行っている。 ・来客に応じたエスカレーターのストップやこまめな電気の消灯、不要な残業の撤廃などに取り組むCO2削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・温室効果ガスの排出量(t-CO2)は、平成30年度100224、令和元年度102084、令和2年度80393と減少している。 ・コロナによる来館者数の減の影響もあるが、館内のLED化推進やこまめなエスカレーターのON-OFFなど地道な排出抑制に取り組んでおり、現在もモニタリングを継続している。			2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・令和元年度には当館1階に環境省の阿蘇山上ビジターセンターが設置され、来館者へ向けた阿蘇の環境情報の提供を行っている。(令和2年来場者数が60万人を突破。) ・当館では上記施設やノウハウをもとに職員やガイドの研修を実施している。 ・令和2年度、職員研修として日本環境教育フォーラム主催「自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業」に参加している。 ・令和2年度からは、ガイド予約システムを導入し、ガイドング後に周辺環境や実施事項について報告を受けるシステムを確立。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務的なDXの推進をおこない、紙やインクの使用量を削減に努めている。 ・令和3年3月より環境に配慮した複合機の導入を行った。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・博物館内に熊本県内の水の涵養機構についての展示を行い、一般への普及啓発活動を行っている。 ・令和2年度には、阿蘇地域の水の電気伝導度を計測し、地域の水の恵みについて学ぶ高校生のプログラムを実施した(阿蘇ユネスコジオパークとのコラボ事業)。本プログラムは、令和3年度も継続して行う予定。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・阿蘇の草原に生息している動物をモチーフにキャラクターを造成。関連グッズの販売により草原の維持再生の啓発に取り組んでいる。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●		・阿蘇火山博物館は、環境省と連携のもと草原学習省委員会に属しており、草原の保全や管理についての一般への周知活動を実施している。 ・令和3年4月には、「茅葺」茅採取ユネスコ無形文化遺産登録記念フォーラムで展示されたカヤのオブジェを博物館1階に展示し、草原の文化や保全の大切さについて啓発を実施し、現在も展示を継続している。 【予定】 令和3年度環境省事業により、草原をテーマにした施設整備を行う予定。草原の維持管理の啓発に寄与する。											11.6 11.7		13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		・平成26年に電気自動車用の充電設備を2基設置し、利用の促進を進めている。 ・令和3年度は日産や阿蘇市の取組に賛同し、電気自動車で来館された利用者の入館割引を実施し、利用促進を行っている。 【予定】 令和3年度中に、当館が位置する阿蘇山上から阿蘇駅をつなぐバスの利用促進のため、道の駅阿蘇などともに利用促進のためのチラシ作成を行う。									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 公益財団法人 阿蘇火山博物館 久木文化財団

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。